

三種監発 - 74

平成25年8月30日

三種町長 三浦正隆 様

三種町監査委員 神馬 均

三種町監査委員 加藤 彦次郎

平成24年度三種町一般会計・特別会計・水道事業会計決算
並びに基金運用状況審査意見書について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項並びに地方公営
企業法第30条第2項の規定に基づき審査に付された、平成24年度三種町
一般会計・特別会計・水道事業会計決算及び証拠書類、その他政令で定める
書類、各基金の運用状況を示す書類について審査した結果、次のとおり意見
を付します。

平成24年度三種町一般会計及び特別会計歳入歳出決算に関する審査意見書

第1. 審査の概要

1. 審査の対象

- 平成24年度三種町一般会計歳入歳出決算
- 平成24年度三種町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度三種町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度三種町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度三種町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度三種町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度三種町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度三種町介護サービス事業勘定特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度三種町衛生処理事業特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度三種町温泉事業特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度三種町国民健康保険診療施設勘定特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度財産に関する調書及び地方債現在高に関する調書並びに債務負担行為に関する調書

2. 審査の期間

- 平成25年7月25日から8月6日まで
- ※ 実施日 7月25、29、30、31日
8月1、2、5、6日（8日間）

3. 審査の方法

この審査にあたっては、町長から審査に付された平成24年度三種町一般会計・特別会計歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、地方自治法、同法施行規則、その他関係法令に準拠して調製されているか、その内容及び計数が関係諸帳簿、証拠書類と符合しかつ適正であるかについて、関係職員の説明を聴取して実施した。

第2. 審査の結果

審査に付された三種町一般会計、各特別会計の歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、決算計数は関係諸帳簿及び証拠書類と符合し、誤りがないものと認めた。

1. 総括

(1) 決算規模

一般会計及び特別会計の決算は、次のとおりである。

表A

(単位：千円)

区 分	一 般 会 計	特 別 会 計	合 計
予 算 現 額	11,089,682	6,860,922	17,950,604
決 算 額			
歳 入 額	10,608,916	6,947,575	17,556,491
歳 出 額	10,312,831	6,683,441	16,996,272
歳入歳出差引額	296,085	264,134	560,219

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

表B

(単位：千円)

区 分	平成23年度	平成24年度	増 減 額	増 減 率
歳 入 額	17,708,805	17,556,491	△152,314	△0.9%
歳 出 額	17,241,640	16,996,272	△245,368	△1.4%
差引増減	467,165	560,219	93,054	19.9%

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

決算額規模を前年度と比較すると、表Bのとおり歳入は0.9%の減、歳出は1.4%の減、差引残額は19.9%の増となった。

(2) 決算収支

総計決算における歳入歳出差引額は、560,219千円の黒字となっているが、翌年度へ繰り越しすべき財源として一般会計50,071千円、公共下水道事業特別会計10千円の50,081千円が含まれており、これを差引いた510,138千円が実質剰余金となっている。

この実質剰余金を前年度(441,877千円)と比較すると68,261千円(15.4%)の増となっている。

(3) 予算の執行状況

歳入決算額17,556,491千円は、総予算額17,950,604千円に対し、394,113千円の減収で、収入率は98.5%となっている。また、調定額18,053,748千円に対する収入率は97.2%(前年度97.2%)となっている。

歳出決算額16,996,272千円は、総予算額に対し94.7%(前年度95.9%)の執行率である。また、615,583千円を翌年度へ繰り越しし、不用額は338,749千円(前年度394,139千円)となっている。

(4) 財政構造

財政構造について、地方財政状況調査表（普通会計決算）によって分析すると次のとおりである。

① 歳入の構成

自主財源と依存財源の構成比をみると、次表のとおり自主財源の構成割合は22.8%で、前年度より1.3ポイント増加した。

(単位：千円、%)

区 分	平 成 2 3 年 度		平 成 2 4 年 度	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
自 主 財 源	2,445,458	21.5	2,423,776	22.8
依 存 財 源	8,949,528	78.5	8,187,498	77.2
計	11,394,986	100.0	10,611,274	100.0

自主財源は、町税1,400,942千円、使用料・手数料148,747千円、諸収入363,912千円などである。

依存財源は、地方交付税5,584,688千円、国庫支出金714,954千円、県支出金743,892千円などである。

② 歳出の構成

歳出の決算額を性質別に分類し、前年度と対比して示すと次表のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	年 度	平 成 2 3 年 度		平 成 2 4 年 度		対 前 年 比		
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	決 算 額	増 減 率	
義 務 的 経 費	人 件 費	1,754,635	15.7	1,746,060	16.9	△ 8,575	△ 0.5	
	扶 助 費	994,857	8.9	1,067,032	10.3	72,175	7.3	
	公 債 費	1,544,002	13.8	1,450,522	14.1	△ 93,480	△ 6.1	
計		4,293,494	38.4	4,263,614	41.3	△ 29,880	△ 0.7	
投 資 的 経 費	普 通 建 設 事 業 費	1,351,558	12.1	753,706	7.3	△ 597,852	△ 44.2	
	内	補 助	358,561	3.2	315,931	3.1	△ 42,630	△ 11.9
		単 独	950,139	8.5	383,970	3.7	△ 566,169	△ 59.6
	災 害 復 旧 事 業 費	102,874	0.9	21,388	0.2	△ 81,486	△ 79.2	
計		1,454,432	13.0	775,094	7.5	△ 679,338	△ 46.7	
そ の 他 の 経 費	物 件 費	1,447,210	12.9	1,182,872	11.5	△ 264,338	△ 18.3	
	補 助 費 等	1,399,456	12.5	1,587,330	15.4	187,874	13.4	
	そ の 他	2,591,485	23.2	2,503,194	24.3	△ 88,291	△ 3.4	
計		5,438,151	48.6	5,273,396	51.2	△ 164,755	△ 3.0	
合 計		11,186,077	100.0	10,312,104	100.0	△ 873,973	△ 7.8	

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

義務的経費 4,263,614 千円は、前年度と比べ 29,880 千円 (0.7%) の減となっている。

投資的経費 775,094 千円は、前年度と比べ 679,338 千円 (46.7%) の減となっている。

その他経費 5,273,396 千円は、前年度と比べ 164,755 千円 (3.0%) の減となっており、合計では 873,973 千円 (7.8%) の減となっている。

③ 財政分析

健全な財政運営の要件とされる普通会計における主な財務比率の年度別推移は、次のとおりである。

区分 \ 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
財政力指数	0.27	0.26	0.25
経常収支比率	81.5%	83.4%	84.2%

※ 指数の算定にあたっては、標準財政規模に臨時財政対策債発行可能額を含む。

- 財政力指数 … 指数が大きければ税収が豊かなことを示し、1 以下であれば、税収不足を示している。
前年に比べ 0.01 ポイント低下し、0.25 となっている。
- 経常収支比率 … 財政構造の弾力性の指標として用いられ、通常 75% 程度に収まることが望ましいとされている。
前年比に比べ 0.8 ポイント増加し、84.2% となっている。

(5) 町債の状況

町債の状況は次表のとおりで、当年度末の残高は 19,838,661 千円であり、前年度末に比べ 738,270 千円減少している。

なお、町債の減少や、低金利への借換えによる利息軽減対策などにより支払利息は対前年比 109,304 千円減少している。

(単位：千円)

区 分	23 年度末 残 高	平成 24 年度中		24 年度末 残 高	
		発行額	償還額		
一 般 会 計	11,190,972	813,600	1,306,891	10,697,681	
特 別 会 計	簡易水道事業	1,473,963	156,400	277,697	1,352,666
	公共下水道事業	5,784,161	187,200	340,421	5,630,940
	農業集落排水事業	1,337,238	169,800	63,601	1,443,438
	介護保険事業	40,000	—	13,333	26,667
	計	8,635,362	513,400	695,052	8,453,710
水道事業会計	750,597	34,200	97,527	687,269	
合 計	20,576,931	1,361,200	2,099,470	19,838,661	

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

24 年度末残高を、25 年 7 月末現在の住基台帳 (18,709 人) をもとに勘案すると、

人口 1 人当たり町債残高 571,793 円 (一般会計)

〃 1,060,380 円 (一般会計、特別会計、水道会計)

(6) 債務負担行為の状況

(単位：千円)

区 分	限度額	支 出 状 況			翌年度以降 支出予定額
		23年度まで	平成24年度	不用額	
一 般	1,399,380	1,134,287	79,215	140	185,738
特 別 会 計	簡水	48	0	0	48
	下水	1,647	1,325	111	210
	農集	334	0	145	189
	計	2,029	1,325	256	447
合 計	1,401,409	1,135,612	79,471	140	186,185

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

翌年度以降支出予定額 186,185 千円は、平成 23 年度 264,126 千円と比べ 77,941 千円、率にして 29.5%減少している。

これは、災害復旧支援資金利子補給、住民基本台帳システム改修事業などの支出額の減少によるものである。

2. 一般会計

平成24年度の決算状況は、歳入 10,608,916 千円、歳出 10,312,831 千円、歳入歳出差引残高 296,085 千円である。

差引残高のうち、翌年度に繰り越すべき財源 50,071 千円が含まれており、これを差し引いた 246,014 千円が実質剰余金となる。

① 歳入の状況

歳入予算のうち、町税の歳入状況は次表のとおりである。

(単位：千円、%)

	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
町 民 税	478,727	551,309	489,716	9,833	51,760	88.8
個人	439,770	508,127	448,668	9,679	49,780	88.2
法人	38,957	43,182	41,047	155	1,980	95.0
固定資産税	713,134	881,919	714,631	25,643	141,645	81.0
軽自動車税	48,057	52,773	48,419	743	3,611	91.7
たばこ税	104,875	105,219	105,219	0	0	100.0
特別土地保有税	1	0	0	0	0	0.0
入湯税	42,876	42,957	42,957	0	0	100.0
計	1,387,670	1,634,177	1,400,942	36,219	197,016	85.7
※前年度	1,373,925	1,627,447	1,387,988	30,690	208,768	85.3

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

歳入について、予算現額 1,387,670 千円、調定額 1,634,177 千円に対し、収入済額 1,400,942 千円で、予算額に対しての収入率が 101.0%、調定額に対しての収入率は 85.7%となっており、前年度 85.3%と比べ 0.4 ポイント増加した。

不納欠損額は 36,219 千円で、前年度と比べ 5,529 千円増加した。

収入未済額は 197,016 千円で、前年度と比べ 11,752 千円減少した。

② 歳出の状況

歳出予算の執行状況は、次表のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	平成23年度	平成24年度	増 減 額
予 算 現 額	11,693,244	11,089,682	△ 603,562
支 出 済 額	11,185,979	10,312,831	△ 873,148
繰 越 明 許 額	334,057	615,373	281,316
不 用 額	173,208	161,478	△ 11,730
予 算 執 行 率	95.7	93.0	△ 2.7

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

予算の執行については、予算現額 11,089,682 千円に対し、支出済額 10,312,831 千円で、執行率は 93.0%となっている。また、不用額は 161,478 千円である。

3. 特別会計

平成24年度各特別会計の歳入総額は6,947,575千円、歳出総額が6,683,441千円で、差引残高264,134千円となっている。

なお、各特別会計に町の一般会計より繰り入れした総額は1,028,281千円（前年度1,010,009千円）となっている。

各特別会計の状況は、次表のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	歳 入	歳 出	差 引 残 高	歳 出 執 行 率	一般会計から の繰入金
国民健康保険	2,740,785	2,534,448	206,337	95.5	180,700
後期高齢者医療	172,788	171,277	1,511	98.9	74,172
簡易水道	416,603	404,152	12,451	97.2	92,565
下水道	567,299	563,476	3,823	99.3	238,695
農業集落排水	404,796	402,084	2,712	99.3	34,541
介護保険	2,559,565	2,526,971	32,594	98.8	375,536
介護サービス	30,488	29,327	1,161	89.6	2,640
衛生処理	31,191	28,106	3,085	89.6	26,238
温泉	24,060	23,605	455	93.4	3,194
計	6,947,575	6,683,441	264,134	97.4	1,028,281

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

(1) 三種町国民健康保険事業勘定特別会計

歳入総額2,740,785千円、歳出総額2,534,448千円、差引残高206,337千円が翌年度に繰り越しとなる。

国民健康保険税の収納状況は、調定額603,808千円に対し、収入済額は483,430千円で、収納率は80.1%（前年度77.4%）となっている。

収入未済額は、過年度分も含め98,772千円で、前年度と比べ8,781千円減少している。

不納欠損額は、21,606千円で前年度より1,590千円増えている。

歳出については、予算現額2,653,486千円に対し、支出済額2,534,448千円で、執行率95.5%（前年度93.1%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より180,700千円（前年度213,338千円）が繰り入れられている。

(2) 三種町後期高齢者医療特別会計

歳入総額172,788千円、歳出総額171,277千円、差引残高1,511千円が翌年度に繰り越しとなる。

後期高齢者医療保険料の収納状況は、調定額98,892千円に対し、収入済額は97,561千円で、収納率は98.6%（前年度98.4%）となっている。

収入未済額は、過年度分も含め1,183千円で、前年度より75千円増加している。

不納欠損額は148千円で前年度より88千円減少している。

歳出については、予算現額173,131千円に対し、支出済額171,277千円で、執行率98.9%（前年度98.9%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より74,172千円（前年度74,110千円）が繰り入れられている。

（3）三種町簡易水道事業特別会計

歳入総額416,603千円、歳出総額404,152千円、差引残高12,451千円が翌年度に繰り越しとなる。

使用料の収納状況は、調定額151,898千円に対し、収入済額が149,172千円で、収納率は98.2%（前年度97.9%）となっている。

収入未済額は、過年度分も含め2,726千円で、前年度より457千円減少している。

歳出については、予算現額415,601千円に対し、支出済額404,152千円で、執行率97.2%（前年度98.3%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より92,565千円（前年度71,905千円）が繰り入れられている。

（4）三種町公共下水道事業特別会計

歳入総額567,299千円、歳出総額563,476千円、差引残高3,823千円のうち、翌年度に繰り越すべき財源10千円が含まれており、これを差し引いた3,813千円が翌年度に繰り越しとなる。

分担金の収納状況は、調定額41,352千円に対し、収入済額が4,093千円で収納率は9.9%（前年度21.6%）となっている。使用料の収納状況は、調定額179,104千円に対し、収入済額が135,905千円で収納率は75.9%（前年度76.9%）となっている。収入未済額は過年度も含め、分担金9,516千円、使用料43,037千円、延滞金2,049千円、合計54,603千円となっている。

本年度より不納欠損処理がなされ、分担金27,743千円、使用料162千円、延滞金6,133千円、合計34,039千円が不納欠損となった。

歳出については、予算現額567,136千円に対し、支出済額563,476千円で執行率99.3%（前年度99.5%）となっている。

なお、この特別会計には町の一般会計より238,695千円（前年度272,610千円）が繰り入れられている。

（5）三種町農業集落排水事業特別会計

歳入総額404,796千円、歳出総額402,084千円、差引残高2,712千円が翌年度に繰り越しとなる。

分担金の収納状況は、調定額11,487千円に対し、収入済額が5,105千円で収納率は44.4%（前年度21.6%）となっている。使用料の収納状況は、調定額18,623千円に対し収入済額が17,964千円で収納率は96.5%（前年度79.5%）となっている。

収入未済額は過年度分も含め、分担金1,921千円、使用料277千円、合計2,198千円となっている。

本年度より不納欠損処理がなされ、分担金 4,461 千円、使用料 381 千円、合計 4,842 千円が不納欠損となった。

歳出については、予算現額 404,968 千円に対し、支出済額 402,084 千円で、執行率は 99.3%（前年度 99.0%）となっている。

なお、この特別会計には町の一般会計より 34,541 千円（前年度 28,183 千円）が繰り入れられている。

（６）三種町介護保険事業勘定特別会計

歳入総額 2,559,565 千円、歳出総額 2,526,971 千円、差引残高 32,594 千円が翌年度に繰り越しとなる。

介護保険料の収納状況は、調定額 405,275 千円に対し、収入済額が 398,263 千円で、収納率は 98.3%（前年度 97.5%）となっている。

収入未済額は、過年度分も含め 4,877 千円となっており、前年度と比べ 735 千円減少している。

不納欠損額は 2,135 千円で、前年度より 76 千円減少している。

歳出については、予算現額 2,557,279 千円に対し、支出済額 2,526,971 千円で、執行率 98.8%（前年度 98.8%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 375,536 千円（前年度 315,793 千円）が繰り入れられている。

（７）三種町介護サービス事業勘定特別会計

歳入総額 30,488 千円、歳出総額 29,327 千円、差引残高 1,161 千円は翌年度に繰り越しとなる。

歳出については、予算現額 32,720 千円に対し、支出済額 29,327 千円で、執行率 89.6%（前年度 90.7%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 2,640 千円（前年度 968 千円）が繰り入れられている。

（８）三種町衛生処理事業特別会計

歳入総額 31,191 千円、歳出総額 28,106 千円、差引残高 3,085 千円は翌年度に繰り越しとなる。

使用料の収納状況は、調定額 3,103 千円に対し、収入済額が 3,103 千円で、収納率は 100.0%（前年度 100.0%）となっている。

歳出については、予算現額 31,349 千円に対し、支出済額 28,106 千円で、執行率 89.6%（前年度 91.2%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 26,238 千円（前年度 16,332 千円）が繰り入れられている。

（９）三種町温泉事業特別会計

歳入総額 24,060 千円、歳出総額 23,605 千円で、差引 455 千円は翌年度に繰越となる。

温泉使用料の収納状況は、調定額 29,335 千円に対し収入済額が 17,310 千円で、収納率は 59.0%（前年度 60.9%）となっている。

温泉使用料の収入未済額は、過年度分も含め 12,025 千円で、前年度と比べ 264 千円増加している。また、延滞金を含めると 18,874 千円になる。

歳出については、予算現額 25,251 千円に対し、支出済額 23,605 千円で、執行率 93.4%（前年度 98.1%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 3,194 千円（前年度は 9,909 千円）が繰り入れられている。

歳出の電気料 7,153 千円とオーバーフロー分の下水道料 1,487 千円の合計 8,640 千円は、現年度分収入済額の約 53.3%を占めている。施設・設備の老朽化に伴い修繕料等の増加が見込まれる中、抜本的な対策が必要と思われる。

(10) 三種町国民健康保険診療施設勘定特別会計

平成 24 年度は歳入、歳出ともない。

以上、各特別会計とも予算執行は、適正に行われたものと認めた。

平成24年度三種町基金運用状況に関する審査意見書

第1. 審査の概要

1. 審査の対象

漁業振興基金、高額療養費資金貸付基金、奨学資金貸付基金

2. 審査の期間

平成25年7月25日から8月6日まで

※ 実施日 8月5日（1日間）

3. 審査の方法

この審査にあたっては、町長から審査に付された平成24年度の各基金の運用状況を示す書類について、その内容及び計数が関係諸帳等と符合しかつ適正であるかについて、関係職員の説明を聴取して実施した。

第2. 審査の結果

審査に付された平成24年度の各基金の運用状況を示す書類の計数は、関係諸帳簿等と符合した結果、誤りがないものと認めた。また、各基金の運用状況は妥当であると認めた。

以下、その概要を報告する。

(1) 漁業振興基金

この基金は、町内の漁業振興のために行われる公共事業又は公共的事業において、漁業団体又は漁業者に対し義務的に課せられる分担金の資金として町が行う貸し付けの源資として運用される資金に充てるために設置されたもので、基金額700万円で運用されている。

なお、当年度の運用はない。

(2) 高額療養費資金貸付基金

この基金は、法令に基づく高額療養費支給制度の適用を受ける者で、医療費の支払が困難なものに対して資金を貸し付けることにより、経済的負担を緩和し、民生の安定を図るために設置されたもので、基金額200万円で運用されている。

なお、当年度の運用はない。

(3) 奨学資金貸付基金

この基金は、本町に住所を有する修学者又は入学のために住所変更した修学者に対し奨学資金を貸し付けすることにより向学心を振起し、もって三種町教育の振興を図るために設置されたもので、当年度は105,579,744円で運用された。（基金額は1億5千万円以内としている）

年度中の貸付額は8,520,000円、対象人数は26人となっており、過年度も含めた年度中の償還額は11,199,600円、対象人数は108人となっている。

また、今年度末の未償還額は8,535千円であり、年々増加している。（資料1参照）

決算年度末残高は105,582,258円となっており、当初と比べると2,514円増えているが、これは基金の運用で生じた利子分である。

(4)各基金の状況

平成24年度三種町各基金の運用状況は、次のとおりである。

(単位:円)

基金の名称	平成23年度末	平成24年度			平成24年度末
		積 増	利子積立	取 崩	
財政調整基金	2,292,149,418	329,735,000	1,871,063	215,976,000	2,407,779,481
減 債 基 金	1,132,073	345,000,000	281	0	346,132,354
ふるさと元気 づくり基金	2,046,041	437,400	0	2,045,000	438,441
住民生活に光をそそ ぐ 基 金	17,701,517	0	7,990	17,709,507	0
合併振興基金	230,000,000	230,000,000	169,002	0	460,169,002
漁業振興基金	7,000,000	0	0	0	7,000,000
高額療養費 資金貸付基金	2,000,000	0	0	0	2,000,000
奨学資金 貸付基金	105,579,744	0	2,514	0	105,582,258
小 計	2,657,608,793	905,172,400	2,050,850	235,730,507	3,329,101,536
国民健康保険事業財 政調整基金	42,636	17,999,000	8	0	18,041,644
介護給付費 準備基金	208,203	62,976,795	1,683	39,996,000	23,190,681
温泉事業財 政調整基金	3,555,600	0	642	3,555,000	1,242
農業集落排水事業 財政調整基金	65,539,528	3,862,000	33,614	37,110,000	32,325,142
財産区財 政調整基金	53,549,881	2,468,651	37,349	0	56,055,881
小 計	122,895,848	87,306,446	73,296	80,661,000	129,614,590
合 計	2,780,504,641	992,478,846	2,124,146	316,391,507	3,458,716,126

平成23年度末に比べ、年度中の積み増しを取り崩しを676,087,339円上回り、利子2,124,146円を合わせて678,211,485円の増加となった。これにより、平成24年度末では3,458,716,126円となった。

平成24年度三種町水道事業会計決算審査意見書

第1. 審査の概要

1. 審査の対象

平成24年度三種町水道事業会計決算

2. 審査の期間

平成25年7月25日から8月6日まで

※実施日 7月30日（1日間）

3. 審査の方法

この審査にあたっては、町長から審査に付された平成24年度三種町水道事業会計決算報告書、財務諸表及び附属明細書、事業報告書、資産に関する調書について、関係法令に準拠して調製されているか、その内容及び計数が関係諸帳簿、証拠書類と符合しかつ適正であるかについて、関係職員の説明を聴取して実施した。

第2. 審査の結果

審査に付された三種町水道事業会計決算報告書、財務諸表及び附属明細書、事業報告書、資産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、かつ決算書に計上されている諸計数は、関係諸帳簿及び証拠書類と符合し、誤りがないものと認めた。

以下、その概要を報告する。

1. 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

(収益的収入)

(単位：千円、%)

科 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収納率
営業収益	86,830	83,967	75,169	8,798	89.5
1. 給水収益	82,810	80,404	75,157	5,247	93.5
2. その他営業収益	4,020	3,563	12	3,551	0.3
営業外収益	55,499	55,843	55,843	0	100.0
1. 受取利息及び配当金	50	34	34	0	100.0
2. 一般会計補助金	55,280	55,280	55,280	0	100.0
3. 加入金	168	504	504	0	100.0
4. 雑収益	1	25	25	0	100.0
特別収益	1	66	66	0	100.0
1. 過年度損益修正益	1	66	66	0	100.0
合 計	142,330	139,876	131,077	8,798	93.7

(収益的支出)

(単位：千円、%)

科 目	予算現額	支出済額	不用額	執行率
営業費用	106,849	101,748	5,100	95.2
1. 原水費及び浄水費	24,599	24,447	152	99.4
2. 配水及び給水費	5,969	5,816	153	97.4
3. 総係費	16,204	15,818	386	97.6
4. 減価償却費	56,652	52,243	4,409	92.2
5. 資産減耗費	3,425	3,424	1	100.0
営業外費用	38,854	38,301	553	98.6
1. 支払利息及び企業債取扱諸費	36,479	36,478	1	100.0
2. 雑支出	20	0	20	—
3. 消費税	2,355	1,823	532	77.4
特別損失	6,762	6,762	0	100.0
1. 過年度損益修正損	6,762	6,762	0	100.0
予備費	0	0	0	—
1. 予備費	0	0	0	—
合 計	152,465	146,812	5,653	96.3

※金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

注) 給水収益の収入未済額5,247千円には、年度末の振り替え遅れ分2,741千円が含まれている。

(2) 損益計算書の比較

(単位：千円、消費税抜き)

科 目	平成23年度		平成24年度		差引増減
営業収益					
1. 給水収益	77,440		76,575		
2. 受託給水工事収益	0		0		
3. その他営業収益	4,057	81,497	3,394	79,969	△ 1,528
営業費用					
1. 原水費及び浄水費	24,070		23,285		
2. 配水及び給水費	4,510		5,540		
3. 受託工事費	0				
4. 総係費	19,764		15,380		
5. 減価償却費	53,092		52,243		
6. 資産減耗費	218	101,654	3,424	99,872	△ 1,782
営業利益		△ 20,157		△ 19,903	254
営業外収益					
1. 受取利息及び配当金	37		34		
2. 一般会計補助金	57,345		55,280		
3. 加入金	150		504		
4. 雑収益	1,058	58,590	25	55,843	△ 2,747
営業外費用					
1. 支払利息及び企業債取扱諸費	45,302		36,478		
2. 雑支出	0	45,302	0	36,478	△ 8,824
経常収益		△ 6,869		△ 538	6,331
特別利益					
1. 固定資産売却益	0		0		
2. 過年度損益修正益	11	11	63	63	52
特別損失					
1. 固定資産売却損	0		0		
2. 過年度損益修正損	15		6,460		
3. その他特別損失		15	0	6,460	6,445
当期純利益		△ 6,873		△ 6,935	△ 62

※金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

(3) 貸借対照表の比較

(単位：千円、消費税抜き)

科 目	平成23年度		平成24年度		差引増減
(資産の部)					
固定資産					
(1)有形固定資産					
1. 土地	105,703		105,703		
2. 建物	180,520		177,803		
3. 構築物	1,601,728		1,557,710		
4. 機械及び装置	174,341		170,911		
5. 車輛運搬具	8,955		8,955		
6. 建設仮勘定	0	2,071,247	0	2,021,083	△ 50,164
(2)無形固定資産					
1. 電話加入権	144	144	144	144	0
(3)投資					
1. 預託金	39	39	39	39	0
固定資産合計		2,071,430		2,021,265	△ 50,164
流動資産					
(1)現金預金	182,432	182,432	194,464	194,464	12,032
(2)未収金	26,867	26,867	31,760	31,760	4,893
(3)貯蔵品	0	0	0	0	0
流動資産合計		209,299		226,223	16,924
繰延勘定					
繰延勘定合計		0		0	0
資産の部合計		2,280,729		2,247,489	△ 33,240
(負債の部)					
固定負債					
(1)企業債	0	0	0	0	0
固定負債合計		0		0	0
流動負債					
(1)一時借入金	0	0	0	0	0
(2)未払金	4,631	4,631	44,404	44,404	39,773
(3)未払費用	0	0	0	0	0
(4)その他流動負債	46,614	46,614	30	30	△ 46,584
流動負債合計		51,245		44,434	△ 6,811
負債の部合計		51,245		44,434	△ 6,811
(資本の部)					
資本金					
(1)自己資本金		514,863		546,481	31,618
(2)借入資本金					
1. 企業債	750,597	750,597	687,269	687,269	△ 63,328
資本金合計		1,265,460		1,233,750	△ 31,710
剰余金					
(1)資本剰余金					
1. 受贈財産評価額	597		597		
2. 工事負担金	0		0		
3. 国庫補助金	792,475		789,818		
4. 一般会計補助金	146,679		146,679		
5. 一般会計負担金	13,008		28,626		
6. その他資本剰余金	20,949	973,708	20,205	985,925	12,217
(2)利益剰余金					
1. 減債積立金	15,000		15,000		
2. 利益積立金	0		0		
3. 当年度純利益	△ 6,873		△ 6,935		
4. 前年度繰越利益	△ 17,811	△ 9,684	△ 24,685	△ 16,621	△ 6,937
剰余金合計		964,024		969,305	5,281
資本の部合計		2,229,484		2,203,055	△ 26,429
負債・資本合計		2,280,729		2,247,489	△ 33,240

※金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

2. 個別意見

(1) 収益的収入及び支出

収入の調定額139,876千円（税抜調定額135,875千円）、支出済額146,812千円（税抜支出金額142,811千円）、差引6,935千円の赤字となった。前年度からの繰越損失24,685千円（税抜）と併せ当期の未処分利益は31,621千円の赤字繰越となった。

営業収入の水道料金は、調定額80,404千円（税込）に対し、収入済額は75,157千円（税込）で、5,247千円（税込）の収入未済額となっている。

支出については、予算現額152,465千円（税込）に対し、支出済額146,812千円（税込）で、執行率は96.3%（前年度99.0%）となっている。

(2) 損益計算書の比較

収入の給水収益（水道料）76,575千円で、前年度77,440千円と比べ865千円落ち込んでいる。また、営業外収入も2,747千円落ち込み、収入全体で4,223千円の収入減となった。

支出では営業費用1,782千円の減少、営業外支出も支払利息を含め8,824千円減少したものの、特別損失で6,445千円増加したため、4,161千円の支出減となった。特別損失は平成23年度で処理すべき機械・構築物の廃棄を本年度に計上したためである。

平成24年度は6,935千円の赤字となり、前年比62千円の赤字増となった。

(3) 貸借対照表の比較

固定資産は減価償却費相当分の50,164千円減少している。流動資産は現金預金が12,032千円増えている。

未収金31,760千円には、水道料金の未収金（現年度5,247千円、過年度17,796千円）と延滞金の未収金3,485千円が含まれている。

企業債は687,269千円で前年度750,597千円と比べて63,328千円減少している。

○ 決算を通しての意見（むすび）

収入未済額については、各会計、運用基金、水道事業会計を含めると、資料1の収入未済額集計表のとおり、433,330,668円となっており、昨年度よりも55,765,798円減少している。一部の項目で改善が見られるものの、下水道使用料、温泉使用料、奨学金貸付金、水道料などは、残念ながら増加傾向にある。

また、時効などにより不納欠損した金額は、資料2の不納欠損額比較表のとおり98,989,985円となっており、昨年度よりも45,836,887円多く処理されている。本年度新たに公共下水道事業特別会計と農業集落排水事業特別会計で不納欠損が発生したためであるが、これを含めなくても15,955,287円増えている状況である。

収納環境が年々厳しさを増す状況にあるが、苦しい中でも義務を果たしている納税者との公平性からも、また貴重な自主財源の確保という点からも、あらゆる方法を駆使して収入未済額の減少及び不納欠損額の減少に努めるよう強く要望する。

基金総額は前年度に比べ678,211千円増え、3,458,716千円となっている。また、町債は前年度と比べ738,271千円減少し、今年度末残高は19,838,661千円となっている。支払利息は前年比109,304千円減少しているなど、係数的には良化している。

歳入の構成によると自主財源は前年度より比率は増加し22.8%となったが、依然、地方交付税等の財源によるところが大きい。

安定した財政運営のため、なお一層の自主財源確保、コスト削減を図るなど、各課協力のもと一丸となって取り組むことを期待する。

現在5%の消費税が平成26年4月に8%、平成27年10月より10%に税率が上がる事が予定されている。さらに、平成25年9月より電気料金の値上げが行われることになっているなど、歳出が増えることが確実である。このことから、自主財源確保のため、収入未済の減少や不納欠損の減少を意識し、事務事業全般にわたるコスト意識を考慮し運営にあたっていただきたい。

特に、消費税申告がなされている特別会計（簡易水道、下水道、農集排、温泉、水道）については、現在の使用料には5%の消費税が含まれて計算されているが、今後は8%や10%の消費税が含まれて計算される。よって、会計上厳しくなることが懸念されるので、何らかの計画を立てておく必要があると思われる。

資料1

収入未済額集計表

(単位：円)

項 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般会計	235,035,350	227,529,674	215,034,312
町民税 個人	53,659,142	52,378,593	49,779,937
町民税 法人	2,215,200	2,055,400	1,980,000
固定資産税	155,745,677	150,369,801	141,644,922
軽自動車税	4,242,800	3,964,500	3,610,823
農地災害復旧費分担金	1,661,537	1,661,537	1,837,062
養護老人ホーム入所負担金	333,545	333,545	333,545
保育所負担金	2,439,488	2,968,738	3,530,238
町営住宅使用料	5,307,500	5,055,155	4,716,755
デイサービス等利用手数料	17,300	17,300	17,300
住宅整備資金貸付金	1,300,511	1,271,364	1,256,364
災害援護資金貸付金	969,400	924,400	874,400
給食費負担金	7,134,695	6,390,841	5,452,966
児童クラブ登録料	6,000	5,500	0
八竜商工会電気料	2,555	0	0
地デジ対応CATV分担金	0	133,000	0
国民健康保険事業特別会計	117,383,615	107,552,611	98,772,312
一般国民健康保険税 医療費	86,145,666	78,275,302	69,699,816
一般国民健康保険税 介護費	13,288,116	11,280,722	9,711,862
一般国民健康保険税 支援費	11,624,772	13,518,639	15,539,219
退職国民健康保険税 医療費	4,997,395	3,343,286	2,666,016
退職国民健康保険税 介護費	784,578	613,953	586,936
退職国民健康保険税 支援費	543,088	520,709	568,463
後期高齢者医療特別会計	1,100,500	1,108,400	1,183,200
普通徴収保険料	1,100,500	1,108,400	1,183,200
簡易水道事業特別会計	3,250,940	3,182,780	2,725,780
水道使用料	3,250,940	3,182,780	2,725,780
公共下水道事業特別会計	86,098,533	87,618,113	54,602,653
下水道分担金	39,568,440	37,467,570	9,516,140
下水道使用料	38,973,193	41,967,643	43,037,013
延滞金	7,556,900	8,182,900	2,049,500
農業集落排水事業特別会計	5,827,290	6,723,980	2,198,120
農業集落排水分担金	5,283,600	6,117,000	1,920,900
農業集落排水使用料	543,690	606,980	277,220
介護保険事業特別会計	5,563,236	5,612,175	4,877,218
普通徴収保険料	5,563,236	5,612,175	4,877,218
温泉事業特別会計	16,783,620	18,610,090	18,873,660
温泉使用料	10,585,820	11,761,190	12,024,760
延滞金	6,197,800	6,848,900	6,848,900
小 計 ①	471,043,084	457,937,823	398,267,255
運用基金	6,257,000	7,827,000	8,535,000
奨学貸付基金貸付金	6,257,000	7,827,000	8,535,000
水道事業会計	20,887,593	23,331,643	26,528,413
水道料金	18,460,993	19,846,643	23,043,413
延滞金	2,426,600	3,485,000	3,485,000
小 計 ②	27,144,593	31,158,643	35,063,413
合 計 (小計①+②)	498,187,677	489,096,466	433,330,668

水道料金については、年度末の曜日による振替遅れ分(2,740,910円)を含むため、実質的には20,302,503円(23,043,413円-2,740,910円)であり、合計では430,589,758円である。

資料2

不納欠損額比較表

(単位：円)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般会計	22,708,974	30,690,386	36,219,084
町民税 現年分	61,336	0	0
町民税 滞繰分	4,101,787	5,817,557	9,833,554
固定資産税 現年分	1,178,100	1,566,500	1,454,900
固定資産税 滞繰分	16,043,531	22,627,129	24,187,830
軽自動車税 現年分	0	0	8,800
軽自動車税 滞繰分	638,400	679,200	734,000
延滞金 (固定資産税)	685,820	0	0
国民健康保険事業特別会計	19,338,799	20,015,695	21,606,091
国保税 現年分	70,100	35,800	18,100
国保税 滞繰分	19,230,799	19,979,895	21,587,991
延滞金	37,900	0	0
後期高齢者医療特別会計	85,900	235,700	148,500
保険料 滞繰分	85,900	235,700	148,500
介護保険事業特別会計	1,919,118	2,211,317	2,134,710
保険料 滞繰分	1,919,118	2,211,317	2,134,710
小 計 ①	44,052,791	53,153,098	60,108,385
公共下水道事業特別会計	0	0	34,039,010
分担金	0	0	27,743,530
使用料 滞繰分	0	0	162,080
延滞金	0	0	6,133,400
農業集落排水事業特別会計	0	0	4,842,590
分担金	0	0	4,461,300
使用料 滞繰分	0	0	381,290
小 計 ②	0	0	38,881,600
合 計 (小計 ①+②)	44,052,791	53,153,098	98,989,985

公共下水道事業分担金並びに農業集落排水事業分担金に係る歳出還付金(3,515,110円+237,900円=3,753,010円)は、過去に遡った欠損と捉えることができるため、平成24年度の実質的な欠損額は、これを加えた102,742,995円である。

年 度 別 不 納 欠 損 額

(単位：千円)

年度	18	19	20	21	22	23	24	合計
金額	39,491	82,873	42,988	34,258	44,052	53,153	98,989	395,804

※千円未満、切り捨て